

クルちゃん ～車いすユーザのためのルート案内アプリケーション～

概要

本アプリケーションは、外出時に車いすユーザが感じる不安を解消し安心を与えることを目的とする。右の写真のように車止めがあって車いすは通れないことや、歩道に上がるちょっとした段差でも車いすユーザにとって危険なものである。車いすユーザを対象にした類似アプリにWheelmapが挙げられる。Wheelmapは車いすに乗った状態で入れる建物が把握できるもので、移動中にある段差に対する不安を解消するものではなかった。そこで、安心できる道を案内するアプリケーションを提案する。スマートフォンを用いる利点として、音声入力やワンタッチ操作で高齢者も簡単に操作できることや、加速度センサなど複数のセンサが搭載されていることがある。



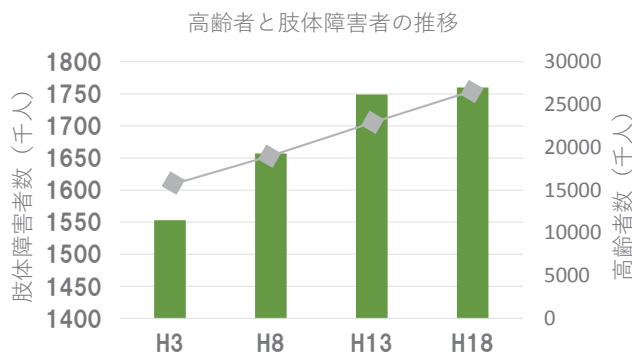
ターゲット

車いすユーザ



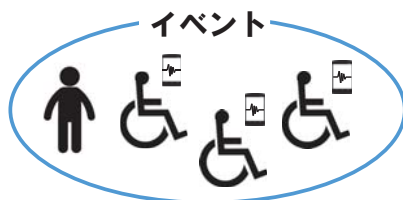
グラフの2006年厚生労働省の身体障害児・者実態調査結果によると、年々肢体障害者と高齢者数が増えている。現在の車いす利用者は日本人の100人に1人の割合。これからも車いすユーザが増えると予想し、ターゲットを定めた。

■ 肢体障害者数
◆ 高齢者数



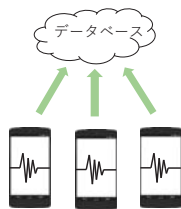
アプリの流れ

イベントを開催して情報を収集



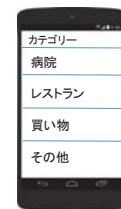
検知した段差を…

データベースに蓄積



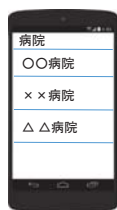
現在地付近の建物を……

カテゴリごとにリスト化



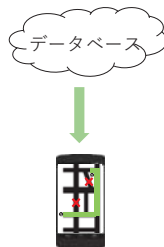
カテゴリをタップ

さらにカテゴリの詳細を表示



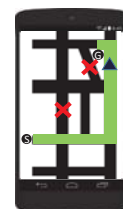
行きたい建物をタップする

必要なルートのデータを返す



データベースを元に……

ルートを音声で案内する



次の角を左です